

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2024年 第48週 （11月25日～12月1日）

## ★県内での感染症発生状況

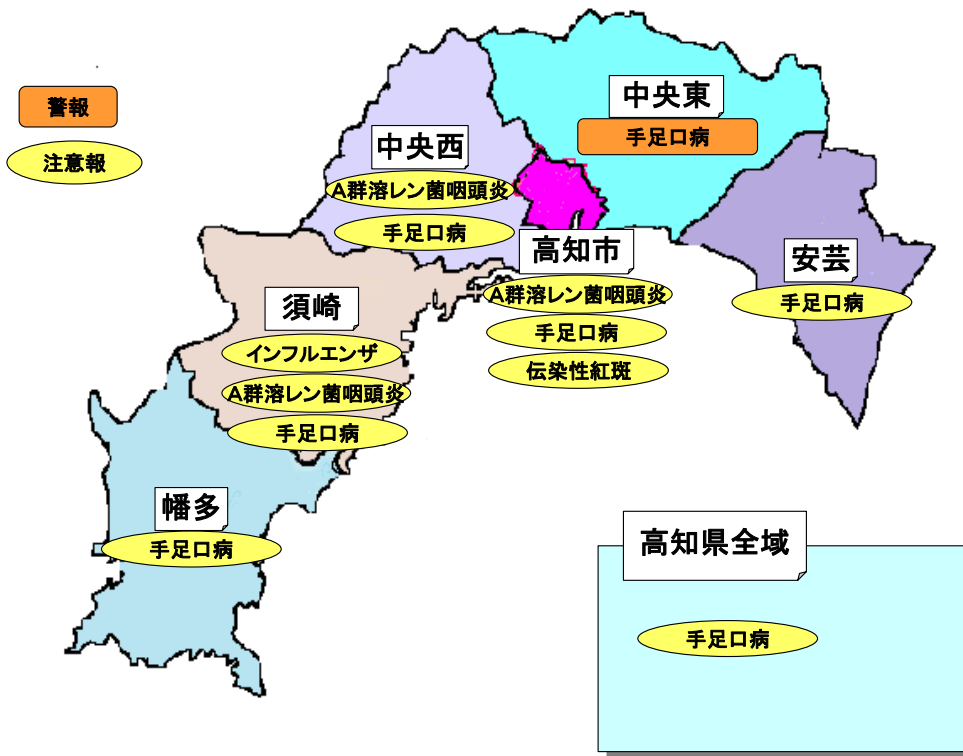
インフルエンザ・COVID-19 及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり報告数	保健所管内別の傾向
手足口病	→	3.88	幡多で増加していますが、高知市、安芸、中央西で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	3.36	須崎、幡多、安芸で急増、高知市で増加していますが、中央東で減少しています。
インフルエンザ	↑	2.36	須崎、高知市、中央東、安芸で急増、中央西、幡多で増加しています。
感染性胃腸炎	↗	1.92	幡多で急増、中央東で増加していますが、安芸、須崎で減少しています。
新型コロナウイルス感染症	↗	1.64	安芸、須崎で急増、中央西、高知市で増加していますが、中央東で減少しています。

### <推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↘	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↗	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

## ★地域別警報・注意報状況



## ★週報の発行日

週報は、毎週「水曜日」の午後3時30分以降に発行しています。

ただし、「月曜日」「火曜日」「水曜日」が祝日の場合は、「木曜日」になります。

## ★気になる感染症

### インフルエンザ

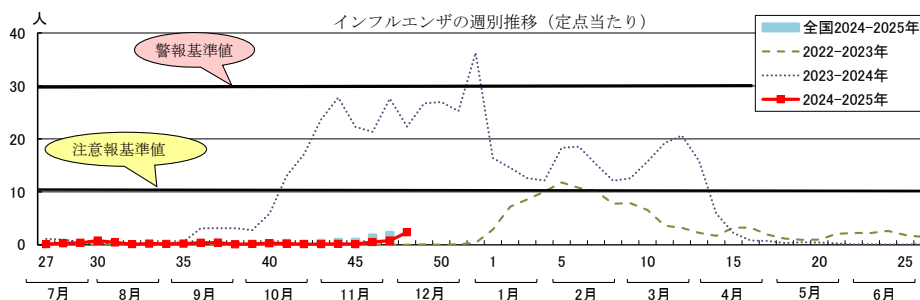
今シーズン（令和6年9月～令和7年8月まで）最初の集団発生が3例あり、また、県全域の報告人数が104人、定点当たり報告数2.36と1.00を超えインフルエンザの流行期に入りました。

全国でも、令和6年第44週（10月28日～11月3日）に流行期入りして以降、インフルエンザの流行の目安とされている1.00を下回ることなく報告されています。

国内のインフルエンザウイルスの直近の5週間（2024年第43週～第47週）の検出状況は、A(H1)pdm09の検出割合が最も多く84.1%、次いでA(H3)が15.9%となっています。

県内でも第48週のインフルエンザ定点医療機関での迅速診断では、全てインフルエンザA型となっています。

例年、インフルエンザは1月～2月頃にピークとなる疾患です。今後感染者数が増加するおそれがありますので注意しましょう。



### ●予防方法

～かからないために～

- \*外出した後などにはこまめに手洗いしましょう。
- \*外出時はなるべく人ごみを避けましょう。
- \*十分な栄養と休養をとりましょう。
- \*10月から予防接種が始まっているので、予防接種をうけましょう。

～うつさないために～

- \*咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど「咳エチケット」を守りましょう。
- \*インフルエンザが疑われるときには、登校を控えるなど、外出はできるだけ控えましょう。

### ●インフルエンザ予防接種について！

インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチン接種後抗体ができて予防効果が発現するには、およそ2週間かかると言われています。かかりつけ医等、医療機関に相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討ください。

### ●学校感染症

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでないとして規定されています。

### ●厚生労働省「インフルエンザ総合ページ」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html)

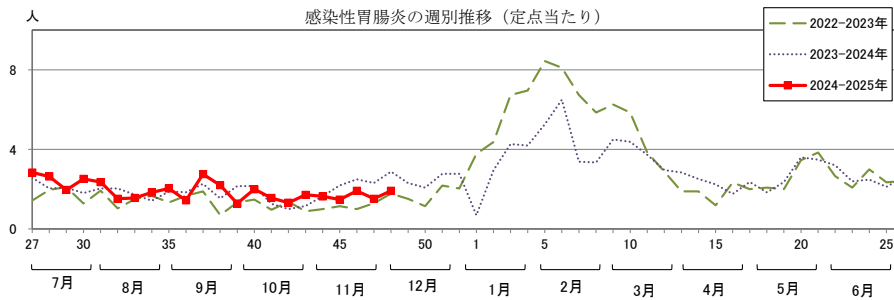
### ノロウイルス感染症

高知市保健所管内の教育保育施設でノロウイルスの集団感染の報告がありました。高知市、高知県ともノロウイルスによる集団感染事例は、今シーズン1例目となります。

この疾病の潜伏期間は24～48時間程度で、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛が主な症状となっており、発熱は軽度です。通常、これらの症状が1～2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。また、感染しても発症

しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

このウイルスは下痢等の症状がなくなっても、通常では1週間程度、長い場合には1か月程度ウイルスの排泄が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。



## ●予防方法

\*食事の前やトイレの後には、必ず手を洗いましょう。

\*便や嘔吐物を処理するときは気をつけましょう。ノロウイルスにはアルコール消毒無効ですので、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

\*下痢や嘔吐等の症状がある場合は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。

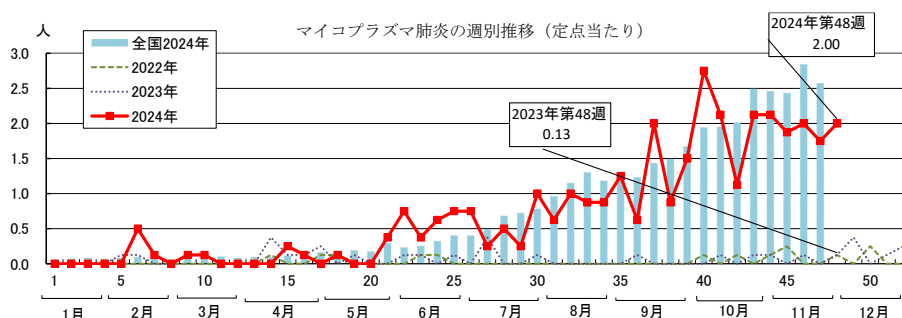
\*加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱しましょう。

## ●学校感染症

感染性胃腸炎（流行性嘔吐下痢症）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、条件によっては第3種の感染症の「その他の感染症」となります。出席停止期間の基準は「下痢・嘔吐症状が軽快し、全身状態が改善されれば登校可能」ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときはこの限りでないと規定されています。

## マイコプラズマ肺炎

第21週から増加傾向が継続し、第43週からは高止まりの状況が続いています。昨年の同時期と比較すると非常に多く、全国も同様の傾向です。第48週の報告数の68.75%は14歳以下で、定点医療機関からのホット情報でも、安芸で2件、中央東で8件、高知市で18件、中央西で2件、須崎で5件、幡多で42件と多くの事例が報告されています。



## ●予防方法

\*普段から手洗いすることが大切です。

\*患者の咳から感染するため、咳エチケットを守りましょう。

## ●学校感染症

学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、学校で通常見られないような重大な流行が起こった場合に、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り学校医の判断を聞き、校長が第3種の感染症として緊急的に措置を取ることができる感染症となっています。

## ダニの感染症(SFTS・日本紅斑熱・つつが虫病)

第48週は、高知市保健所管内から「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」の発生届が1例ありました。

「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息する比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症で、過ごしやすい季節になり野外での活動が多くなると注意が必要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になり、感染のリスクが高まります。（ツツガムシ同様、全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。また、ネコやイヌなどの動物が SFTS ウイルスに感染、発症した場合、その血液や唾液などの体液に直接接触することで感染する可能性があります。ペットの健康状態の変化に注意し、体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないように注意してください。必要な場合は動物病院を受診しましょう。また、ペットがマダニに咬まれないようダニ駆除剤を使用することも有効ですので獣医師に相談しましょう。

また、ツツガムシに咬まれることによって感染する「つつが虫病」にも注意してください。ダニの一種であるツツガムシの幼虫（0.2mm）が媒介する感染症で、高知県では、毎年秋から冬にかけて多く報告されています。（全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。）

### ●予防方法

- マダニ、ツツガムシに「咬まれない」ことが予防策になります。
- 野山や畑などに出るときには、長袖・長ズボンで肌の露出を避けましょう。
- 虫除け剤（有効成分：ディート）も有効です。
- 飼っているネコやイヌが外で咬まれることもあります。ブラッシング等をこまめにしてマダニを持ち込まないようにしましょう。
- 体調不良のペットに触れたときは、手洗いを心がけてください。

### ●発熱等の症状が出た場合

- 野山に入って数日～数週間経過した後、発熱等の症状が出た場合は、医療機関を受診してください。
- 受診の際は、発症前に野山に立ち上がったこと（ダニに咬まれた可能性）を伝えてください。

### ●参考

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症

<https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2024022700074/>

### ★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	1	63	80 歳代 男性	高知市
		1		90 歳代 女性	
4 類	重症熱性血小板減少症候群	1	10	70 歳代 男性	
	レジオネラ症	1	8	60 歳代 男性	
5 類	梅 毒	1	40	20 歳代 女性	
		1		50 歳代 男性	

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
48	インフルエンザ	40℃	14	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
48	インフルエンザ	39℃	13	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
48	インフルエンザ	39℃	12	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
48	インフルエンザ	40℃	13	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
48	手足口病	発疹	5	女	須崎	Rhinovirus
48	手足口病	38℃, 発疹	3	女	須崎	Rhinovirus
48	手足口病	40℃, 口内炎様あり	1	男	須崎	Rhinovirus

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	—	—	3か月	男	高知市	Rhinovirus
46	手足口病	39℃, 水疱, 発疹, 口内炎	2	男	高知市	Rhinovirus
46	手足口病	38℃, 水疱, 発疹, 口内炎	1	女	高知市	Rhinovirus
47	突発性発しん	39℃, 発疹	9か月	女	須崎	Rhinovirus
47	手足口病	発疹, 咽頭痛	6	男	須崎	Rhinovirus
47	手足口病	発疹	1	男	須崎	Rhinovirus
47	咽頭結膜熱	嘔吐, 頭痛	5	女	幡多	Rhinovirus

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 2 例 (4 歳男、9 歳男)
中央東	高知大学医学部付属病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (9 歳女)
	早明浦病院小児科	RS ウイルス感染症 1 例 (生後 3 週間) 手足口病 5 例 (1~5 歳)
	JA 高知病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 インフルエンザ A 型 4 例 溶連菌性咽頭炎 3 例 水痘 3 例 手足口病 11 例 サルモネラ胃腸炎 1 例 第 47 週：マイコプラズマ (lamp 法陽性) 7 例
	野市中央病院小児科	病原性大腸菌 (ベロ毒素陰性) 1 例 (1 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ感染症 15 例 ③歳 7歳4人、8歳2人、9歳3人、11歳2人、12歳 14歳 50歳代 溶連菌感染症 17 例 アデノウイルス咽頭炎 2 例
	三愛病院小児科	マイコプラズマ肺炎 3 例 (8 歳男、11 歳女、12 歳女) アデノウイルス咽頭炎 2 例 (1 歳男女)
	福井小児科・内科・循環器科	伝染性紅斑 1 例 (1 歳女) 溶連菌感染症 9 例 手足口病 4 例 インフルエンザ A 型 2 例 COVID-19 5 例

保健所	医療機関	情報
高知市	ふないキッズクリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳女)
	細木病院小児科	溶連菌感染症 9 例 手足口病 2 例 インフルエンザ A 型 3 例 COVID-19 1 例
中央西	くぼたこどもクリニック	手足口病 1 例 (3 歳女：仁淀川町) COVID-19 1 例 インフルエンザ A 型 5 例
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 2 例 (8 歳男、12 歳女)
須崎	もりはた小児科	インフルエンザ A 型 50 例 (管内小学校での集団発生) マイコプラズマ感染 5 例 (lamp 法陽性 4 例、抗原陽性 1 例) 溶連菌感染症 13 例 手足口病は 8 例と減少傾向 COVID-19 1 例 (16 歳女)
幡多	渭南病院小児科	マイコプラズマ感染症 2 例 (1 歳男、3 歳女)
	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎 14 例 (1~16 歳) 47 週サルモネラ腸炎 1 例 (4 歳女)
	さたけ小児科	マイコプラズマ肺炎 26 例 (1~15 歳) 手足口病 4 例 RS ウイルス感染症 1 例 (1 歳女)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階  
TEL：088-821-4961 FAX：088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2024 年 12 月 2 日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合は、週報上にて訂正させていただきます。

# ★高知県感染症情報 疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(55定点医療機関)

第48週 令和8年11月29日(月)～令和8年12月1日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	第48週							計	前週	全国(47週)	高知県(48週末累計) R6/1/1～R6/12/1	全国(47週末累計) R6/1/1～R6/11/24
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ (COVID-19)	インフルエンザ	1	12	20	12	57	2	104 ( 2.36 )	35 ( 0.80 )	11,678 ( 2.36 )	9,850 ( 223.86 )	1,218,551 ( 247.22 )	
	新型コロナウイルス感染症	4	10	28	13	4	13	72 ( 1.64 )	53 ( 1.20 )	8,948 ( 1.81 )	14,668 ( 333.36 )	1,484,520 ( 301.18 )	
小児科 (25)	咽頭結膜熱		3	3		1	1	8 ( 0.32 )	8 ( 0.32 )	883 ( 0.28 )	452 ( 17.38 )	93,086 ( 29.74 )	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	5	39	11	13	13	84 ( 3.36 )	58 ( 2.32 )	6,401 ( 2.04 )	3,512 ( 135.08 )	455,715 ( 145.60 )	
	感染性胃腸炎	3	9	22		3	11	48 ( 1.92 )	38 ( 1.52 )	9,668 ( 3.08 )	3,147 ( 121.04 )	584,240 ( 186.66 )	
	水痘		3	5				8 ( 0.32 )	4 ( 0.16 )	724 ( 0.23 )	146 ( 5.62 )	23,615 ( 7.54 )	
	手足口病	4	30	32	4	9	18	97 ( 3.88 )	122 ( 4.88 )	10,567 ( 3.37 )	4,123 ( 158.58 )	639,750 ( 204.39 )	
	伝染性紅斑			9				9 ( 0.36 )	6 ( 0.24 )	1,612 ( 0.51 )	49 ( 1.88 )	17,804 ( 5.69 )	
	突発性発疹			5				5 ( 0.20 )	9 ( 0.36 )	756 ( 0.24 )	303 ( 11.65 )	37,445 ( 11.96 )	
	ヘルパンギーナ							( )	2 ( 0.08 )	239 ( 0.08 )	683 ( 26.27 )	74,190 ( 23.70 )	
	流行性耳下腺炎							( )	( )	83 ( 0.03 )	23 ( 0.88 )	5,880 ( 1.88 )	
	RSウイルス感染症		3					3 ( 0.12 )	3 ( 0.12 )	734 ( 0.23 )	1,446 ( 55.62 )	117,481 ( 37.53 )	
	眼科(3)	急性出血性結膜炎							( )	( )	15 ( 0.02 )	( )	579 ( 0.83 )
流行性角結膜炎							1	1 ( 0.33 )	2 ( 0.67 )	367 ( 0.53 )	21 ( 7.00 )	17,593 ( 25.35 )	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎							( )	( )	11 ( 0.02 )	10 ( 1.25 )	452 ( 0.94 )	
	無菌性髄膜炎							( )	( )	13 ( 0.03 )	3 ( 0.38 )	689 ( 1.44 )	
	マイコプラズマ肺炎			6			10	16 ( 2.00 )	14 ( 1.75 )	1,233 ( 2.57 )	277 ( 34.63 )	17,856 ( 37.20 )	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( )	( )	2 ( 0.25 )	51 ( 0.11 )	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	( )	6 ( 0.01 )	12 ( 1.50 )	293 ( 0.61 )	
計 (小児科定点当たり人数)	15 ( 6.25 )	75 ( 11.03 )	169 ( 16.21 )	40 ( 13.75 )	87 ( 28.25 )	72 ( 13.38 )	458 ( 14.60 )			53,938	38,727 ( 1091.22 )	4,789,790	
前週 (小児科定点当たり人数)	16 ( 7.50 )	73 ( 10.70 )	154 ( 15.63 )	35 ( 13.50 )	34 ( 13.50 )	42 ( 6.38 )		354 ( 12.00 )					

注 ( ) は定点当たり人数。

高知県感染症情報(55定点医療機関)定点当たり人数

第48週

定点名 (定点数)	保健所 疾病名	第48週							計	前週	全国(47週)	高知県(48週末累計) R6/1/1～R6/12/1	全国(47週末累計) R6/1/1～R6/11/24
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ (COVID-19)	インフルエンザ	0.25	1.20	1.43	3.00	14.25	0.25	2.36	0.80	2.36	223.86	247.22	
	新型コロナウイルス感染症	1.00	1.00	2.00	3.25	1.00	1.63	1.64	1.20	1.81	333.36	301.18	
小児科 (25)	咽頭結膜熱		0.50	0.33		0.50	0.25	0.32	0.32	0.28	17.38	29.74	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	0.83	4.33	5.50	6.50	3.25	3.36	2.32	2.04	135.08	145.60	
	感染性胃腸炎	1.50	1.50	2.44		1.50	2.75	1.92	1.52	3.08	121.04	186.66	
	水痘		0.50	0.56				0.32	0.16	0.23	5.62	7.54	
	手足口病	2.00	5.00	3.56	2.00	4.50	4.50	3.88	4.88	3.37	158.58	204.39	
	伝染性紅斑			1.00				0.36	0.24	0.51	1.88	5.69	
	突発性発疹			0.56				0.20	0.36	0.24	11.65	11.96	
	ヘルパンギーナ								0.08	0.08	26.27	23.70	
	流行性耳下腺炎									0.03	0.88	1.88	
	RSウイルス感染症		0.50					0.75	0.24	0.23	55.62	37.53	
	眼科(3)	急性出血性結膜炎									0.02		0.83
流行性角結膜炎							1.00	0.33	0.67	0.53	7.00	25.35	
基幹 (8)	細菌性髄膜炎									0.02	1.25	0.94	
	無菌性髄膜炎									0.03	0.38	1.44	
	マイコプラズマ肺炎			1.20			10.00	2.00	1.75	2.57	34.63	37.20	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.25		0.11	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	1.50	0.61	
計 (小児科定点当たり人数)	6.25	11.03	16.21	13.75	28.25	13.38	14.60				1091.22		
前週 (小児科定点当たり人数)	7.50	10.70	15.63	13.50	13.50	6.38		12.00					





# 病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ/COVID-19定点・小児科定点・眼科定点)

## 高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2024年 第48週)

